



Weekly Report



クラブ会長テーマ

理想は広く大きく…行動は地道にしっかりと

2005-6-8 第701回例会 NO. 15-44 2005-6-15 発行

◎司会 SAA委員会 澄川 昇

◎点鐘 会長 菊池 敏

◎ロータリーソング『我らの生業』
ソングリーダー 吉沢 洋景◎お客様紹介 会長 菊池 敏
・東京多摩プロバスクラブ 池田 寛 様
・岡山西南RC 椎原 裕二 様

◎会務報告 会長 菊池 敏

本日、第20回定例理事会を事務局にて開催し、下記議案を審議決定いたしました。

①国際奉仕特別事業「よこやまの道、記念碑建立」会計報告について承認しました。

②御松 哲会員退会届けについて承認しました。

③新会員として1名の推薦を承認しました。異議のある方は本日より7日の間(6月14日(火))までに文書にてお申し出下さい。

④5月25日の例会にて2名の新入会員候補のお知らせを致しましたが、そのうち、1名の方について再調査申立が理事会に提出されましたので、審議の結果、選考委員会に審議差戻しという事になりました。

⑤実行委員会広報担当の津守会員に「よこやまの道」の資料をまとめていただく事になりました。

⑥6月6日プロアマチャリティゴルフに出席してまいりましたが、当クラブでは3組12名以上の参加要請でしたが、残念なことに6名の出席でした。次年度はこういった公式行事の一つの3クラブ合同チャリティゴルフのホストクラブとして決まっておりますので、会員の皆様には、是非共沢山のご参加をお願いします。

◎幹事報告 幹事 田島真由美

①配布物：15周年記念事業委員会検討事項報告書(本

日のクラブ協議会の資料です)/よこやまの道記念碑建立の会計報告書/新会員候補者のお知らせ

②回覧：『万葉の歌碑』記事(多摩ニュータウンタイムス)/腕白相撲(多摩青年会議所)

③決算の関係上、支払いは6月末までに処理したいので、立替、仮払い等が御座いましたら至急お申し出下さい。

◎次年度会務報告 次年度会長 北村 幸彦

・今回は報告事項はありません。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 四條 公康

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 41名(出席免除者2名)
- ・出席者数 27名
- ・欠席者数 14名(事前MU1名)
- ・出席率 68.29%
- ・欠席者：阿部 華歌、藤本 吉文、藤原 正範、
桧垣 昭、平野 行廣、伊藤 英也、
小泉 博、村上 久、杉野志保子、
高木 淳光、高野 範城、津守 弘範、
内田 啓、御船 哲
- ・補填MU：藤本 吉文 6/1 被選理事会
北村 幸彦 6/1 被選理事会

5/25 最終訂正出席率 78.05%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 小林 正

菊池 敏 お客様、ようこそ。池田様、本日の卓話楽しみにしております。

田島真由美 私の任務も今日を入れてあと3回。ニコニコ。池田様、卓話楽しみです。

関岡 俊二 池田様、卓話宜しくお祈いします。

澄川 昇 今年度も残り少なくなりましたね。SAAとしてもやり残しが多く、宮村さんに引き継

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】菊池 敏 【幹事】田島真由美

【クラブ会報委員長】小田泰機 【副委員長】加藤喜三郎

【委員】田中 賢・小城章員・足立潤三郎・杉野志保子・小泉 博・内田 啓

きたいと思います。

萩生田政由 6月6日プロアマチャリティゴルフ大会に参加しました。皆様も参加しましょう。(ニコニコにも)

小林 正 蒸し暑いです。そろそろいやな梅雨入りですネ。

本日の合計¥8,000 (累計¥960,083)

◎その他委員会報告

・式典・祝宴委員会

委員長 宮村 宏

15周年記念事業の式典・祝宴委員会を本日2時より2Fのデュエットで行います。

・次年度SAA委員会

委員長 宮村 宏

6月15日(水)次年度SAA委員会炉辺会合を午後6時より『多摩なり』で行います。ご出席ください。詳細は後ほど、事務局よりFAXします。

◎会報委員会

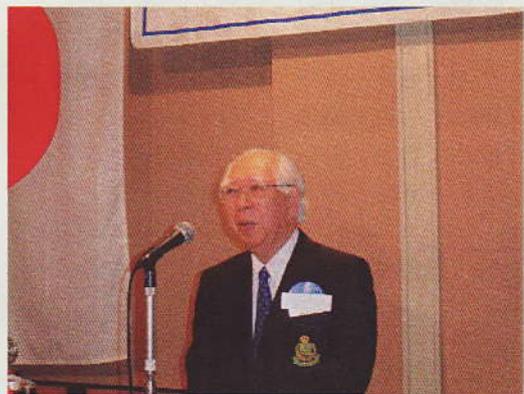
会報委員 足立潤三郎

第700回例会会報の終わり部分の敗を肺に一字訂正して下さい。

◎卓話『戦後から現在までの映画業界の急激な変貌と衰退について』

池田 寛 様

(東京多摩プロバスクラブ会員)



ロータリークラブの皆様、今日は。上座からご挨拶申し上げます。プロバスの会長の蓮池さんから

電話がありまして、是非行ってくれというので恥を忍んで伺いました。

私は最初に入りましたのは昭和21年で丁度20年が終戦で21の春、たまたま渋谷にある東京急行電鉄のオーナーの五島敬太という有名な男ですがこれと縁故関係にあるものですから五島の親父のほうから「東急に来い」と言うので、「では入れて貰います。」というので2

1年の春行きましたら、黒川という専務が出て来まして、「いま電鉄に入っても本社焼け、鉄道は焼け電車は焼け若い者には面白くないだろうと、今度映画会社を作るからそちらの方でやってみないか」と言うので、黒川と言う専務が社長になりまして、東映と言う会社を作ったわけです。現在も東映は東京急行電鉄の関連会社という事になっています。

そんな訳で入りましてそれから50年、73歳で一応会社を辞めまして50年間勤めました。

今まで色々会社で変貌が御座いますけれども私の経験からいきますと映画くらい事業の変貌の激しい所はないと思います。映画から始まりまして、テレビ、ビデオ、と移り変わりがまして現在ではビデオがCDからDVDと変わってまいりまして、この変わり方につきましては、たまたま運が良いか或いは運が悪かったか、全ての事業に、私関係致しましたので、私が歩みまして50年をお話することが一番わかり易いのではないかとおもいます。

私はこの映像を第一、第二、第三というように考えております。第一の映像は歌舞伎を皆さんに見て貰うためにフィルム撮ってみた。これは劇場に行かなければ見られません、劇場に行くためには良い服を着て、或いは同伴者を連れて、電車賃をつかって行って、そして劇場の時間に合わせて見ると大変お金がかかる。そこで時間のロスをと何とか出来ないかと考えたのが、第三の映像というビデオです。この間にテレビがありますが、第三の映像というビデオは自分のところで見る事が出来る。しかし、これがテレビのほうの放映が洋画劇場などありますが、これは自分の所で見られる。これも、放送局の一方的な時間によって、その場所にいなければ見られない。これを更に改造しようと言うので研究いたしましたのがビデオで御座います。ビデオは自分の好きな時好きなものを見る事が出来る。これが第一、第二、第三、の映像として発展してきたわけです。この映像に対してついていけない会社が残念ながら次々と倒産して行ったわけです。

◎点鐘

会長 菊地 敏

【第7回クラブ協議会】

議長：会長 菊地 敏
司会進行：幹事 田島真由美

<テーマ>

創立15周年記念事業『少年少女合唱団』について
実行委員長 宮本 誠
記念事業実施について、活発な話し合いがなされた。

(今週の担当 加藤喜三郎)